



▲ Monza LP Stabilizer

MonacoはMonza LP Stabilizerの小型版で、構造はほぼ同じ

▲ Monaco

Monza LP Stabilizerの裏面には圧電効果を用いた制振シートが貼られている

特集 アナログオーディオと電源アクセサリ 9種の試聴

# フルテック Monza LP Stabilizer

ターンテーブル用  
ディスクスタビライザー

税込価格 ¥52,360

# Monaco

ターンテーブル用  
ディスクスタビライザー

税込価格 ¥32,780

寸法・重量：  
φ79×28.0Hmm・350g (Monza LP Stabilizer),  
φ45×28.0Hmm・210g±5g

非磁性体ステンレスブロックから削り出したボディ本体に、独自の制振技術  $\alpha$  ピエゾシステムを組み合わせたアナログディスクスタビライザー。上位モデル Monza LP Stabilizerはディスクレーベルを覆うほどの大きさで、本体重量が350gの大型タイプ。Monacoは本体重量220gのコンパクト仕様だ。トップカバーと側面にはカーボンファイバークロスを仕上げとして用い、高級感ある仕上げとしている。

$\alpha$  ピエゾシステムは、有害な振動をピエゾ効果によって電荷へ変換。これをカーボン材で吸収し、熱として放出することで振動を吸収するというもので、ナノ単位の特殊セラミックパウダーとカーボンパウダーを一定比率で調合した制振シートとしている。レコード盤と触れる面にこの制振シートを配しており、同心円状の16個 (Monacoは8個) のスリットによってカートリッジからの共振も抑え込むという。またトップカバーと本体との接合部にも制振シートを配置。スピンドルホール部には摩擦抵抗を軽減する特殊樹脂材を用いている。

Monza, Monacoともに中低域方向の引き締め効果があり、音場の見通しの良さ、音像フォーカスが向上。Monacoはていねいに音像の輪郭を整え、伸び良く潤いあるサウンドを聴かせてくれた。Monzaは

それより一段強い引き締め効果があり、ウッドベースとキックドラムの描き分けや、ホーンセクションやピアノの響きの透明感、ヴォーカルなどの音像の輪郭表現の明確さにより、高い音質改善が認められる。180g重量盤に対してはMonacoではいくぶん効能が薄れる印象であり、Monzaを用いたほうが良いように感じた。LPより若干薄めの素材である12インチシングルに対してMonacoは個々のパートを明瞭に引き立たせ、メリハリ良く分析的に聴かせてくれる。一方MonzaではS/Nが一段と良くなり、分解能の高い低重心なサウンドへと進化する。リズム隊も締め良く、アタックは滲みのないソリッドな輪郭として描き出す。低域そのものは弾力良く艶やかで、高域の透明感の高さ、分離の良さが際立つ。Monza / Monacoともに音質変化としてはナチュラルな傾向で、付帯感はない。音楽の抑揚はそのままに、歪みっぽい中低域の雑味を取り除く、バランス指向のアクセサリといえそうだ。(岩井 喬)